



学校便り No. 8

のびのび七浦っ子

令和8年9月9日
鹿島市立七浦小学校
文責 校長 片渕千佳

学校教育目標 一人一人の個性を磨き、しなやかにたくましく生きる子供の育成

平和の尊さと歴史の事実学ぶ ～平和集会より～

8月28日に平和集会を行いました。まず有森先生から、平和についての話を聞きました。「毎日ご飯を食べられること」「夜、布団で安心して寝られること」「友達と遊んだり勉強したりできること」…普段当たり前だと感じている日常のすべてが、平和だからこそ成り立っているのだと教えていただきました。子供たちは、当たり前にある日常への感謝と平和の尊さを改めて実感するとともに、今なお世界で続く争いに思いを寄せ、心を痛めている様子でした。

続いて植松先生から、ご自身のお祖父様についての講話がありました。お祖父様がどのような気持ちで戦場へ向かったのか、そして家族がどんな思いで帰りを待っていたのか。実際に戦場から届いた手紙やご家族の写真をを見せていただき、当時の苦しみや悲しみ、自由すら奪ってしまう戦争の愚かさを強く感じ取ることができました。

最後に、有森先生による絵本「かわいそうなぞう」の読み聞かせが行われました。戦争は人間だけでなく、言葉の言えない動物たちにとっても悲しく酷い出来事であったことを知りました。集会の終盤には、戦争で亡くなられた方々へ哀悼の意を表し、二度と同じ過ちを繰り返さないという誓いを込めて、全校で黙祷を捧げました。

平和を常に意識しながら過ごすことは難しいかもしれませんが、しかし、このように歴史の事実に触れ、立ち止まって平和について考える時間は非常に大切です。集会を通して、平和の尊さを胸に刻む貴重な一日となりました。



6年 校外学習(8/26)

8月26日、6年生が武雄市への校外学習を実施しました。目的地に向かう途中、塩田町久間に立ち寄り、理科の学習の一環として地層の見学を行いました。続いて訪れた宇宙科学館では、館内の体験型展示やアトラクションを楽しんだり、プラネタリウムを鑑賞したりしました。学校での学習とは異なり、公共施設での見学や体験を通して科学への興味や理解を深めることができました。また施設で働く方々や一般の来館者など、さまざまな人と接することで、マナーや社会性を学ぶ貴重な機会となりました。



縦割り掃除 がんばるぞ！

これまで学級ごとに取り組んでいた清掃活動ですが、9月より縦割り掃除「スーパーむつごろうそうじ」を開始しました。全校児童が8つの縦割りグループに分かれ、異学年で協力して担当場所を掃除します。学年を超えた学び合いや助け合いを通じて、学校全体のコミュニティの強化を目指す取組です。

開始時には6年生を中心に人数や役割の確認を行い掃除に取り掛かります。掃除中は校舎に無言清掃の静寂が広がるほど、それぞれが一生懸命取り組んでいます。最後はふりかえりタイムを実施して活動を締めくくります。

これまで掃除の仕方が課題だった本校ですが、取組を始めてから子供たちの意識が大きく変化しました。下級生を頼もしく引っ張る6年生のリーダーシップも大変頼もしい限りです。まだ始まったばかりですが、この活動を通して子供たちがさらに成長していくことを期待しています。



1・2年 干潟体験(9/7)

9月7日、本校および分校の1・2年生が七浦海浜スポーツ公園で干潟体験を行いました。10月4日に予定されている「七リンピック」に向け、干潟活動が初めてとなる1年生のプレ体験も兼ねての実施です。

当日は穏やかな日差しと心地よい風に恵まれ、絶好の活動日和となりました。最初は初めて経験する干潟の感触に戸惑う児童も見られましたが、七浦ならではの豊かな自然を全身で体感することができました。

10月4日の七リンピック本番では、さまざまな競技に挑戦します。子供たちがどのような活躍を見せてくれるのか、今からとても楽しみです。

